

音と映像を駆使した教育コンテンツが世界中から集まる国際コンクールです

第39回「日本賞」一次審査結果発表！

第39回「日本賞」一次審査では、海外や国内の映像・ゲーム制作者、放送・映画関係者、メディア教育研究のプロフェッショナルなど計21人の審査委員により、エントリー総数335作品のうち、コンテンツ部門95作品、企画部門5作品が選ばれ、最終審査の対象となりました。

一次審査通過作品は制作者の熱意あふれる作風が並び、見応え充分です。欧米からは、イギリス、スペイン、カナダ、米国をはじめとした国・地域から多くの力作が通過しました。またアフガニスタンの社会科番組を含むアジア勢の健闘も目立ち、日本からは民放やNHKに加えてビデオ制作会社、ウェブ・ゲーム制作会社などによる多様な作品が選ばれました。昨年新設のイノベティブ・メディア カテゴリーにも意欲作が多く、審査委員からは「クオリティ向上への制作者の意欲、新しい方法論を生み出そうとする熱意、操作性の追求などに大きな刺激を受けた」との講評がありました。

10月18日からの本審査では、これらの中から受賞作品が選ばれます。

一次審査通過作品の発表はここ！

コンテンツ部門 通過作品 全95作品

テレビ・映画・ビデオ作品

76
作品

ウェブサイト作品

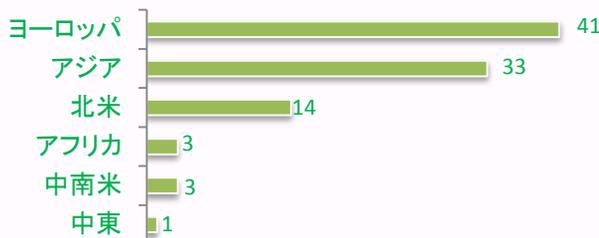
10
作品

ゲーム作品

6
作品

その他双方向作品

3
作品



企画部門 通過作品

バングラデシュ・コロンビア・インド・ネパール・スリランカ から 全5企画 が通過

10月22日（月）にNHK放送センター内にて、ファイナリストとなる企画の制作者が来日し、本審査のためのファイナル・プレゼンテーションが行われる予定です。

「日本賞」期間中のイベント

参加登録受付中！ [ここをクリック！](#)

★企画部門 10回記念 フォーラム

「日本賞」企画部門は今年10回目を迎えます。過去の審査委員や受賞者を迎えて、企画部門の対象となる「予算や機材などの条件が十分でないために番組制作が困難な国・地域」の現状や未来を語っていただきます。

登壇者発表！



K.M.タジビウル・ハサン(バングラデシュ)
2007年第5回企画部門特別賞(日本ユネスコ協会賞)
受賞作品プロデューサー(当時)



カレブ・ムチュング(マラウイ)
2011年第9回企画部門最優秀企画賞
(放送文化基金賞)受賞作品プロデューサー/ディレクター

この他のゲストはウェブサイトにて順次発表いたします。

NHK放送技術研究所への
見学ツアーも企画しています。

日時はウェブサイトで発表いたします！

★教育コンテンツ世界制作者会議 (IPCCEM)

10月23日(火)～25日(木)

今年新たなイベントとして開催する「教育コンテンツ世界制作者会議 (IPCCEM)」。
基調講演や来日が決定したゲストの発表第一弾です。
今後も続々と登壇者が決定します。乞うご期待！
詳しくはウェブサイトにて順次発表いたします。



「初音ミク」クリエイター
による基調講演決定！！

伊藤博之(日本)
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
代表取締役



来日決定！！



メリディス・ニアマン
(アメリカ)
WGBH 教育財団(PBS)
国内番組デジタル推進局長



ベラ・ステルン
(スウェーデン)
SVT子供向け放送チャンネル
編成部長



ウォルター・ズッシャー(ドイツ)
南西ドイツ放送協会(SWR)
教育・科学局長

